

みんな笑顔で あったかす

みんなの議会

5

2011

3月定例会号



第5回議場コンサート

町内在住の RIKO さんをお招きし
第1回定例会の初日3月8日に開催しました。

■第1回定例会

執行方針質疑・予算審査特別委員会・一般質問

■第1回臨時会／第2回臨時会／第3回臨時会

■わたしの一言



第1回定例会

第1回定例会は、3月8日から9日間の会期をもって開催し、平成23年度の町政執行方針および教育行政執行方針の報告を受けた後、2名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをいただきました。議事は、平成22年度5会計補正予算、規約の変更、条例の制定・改正・廃止および平成23年度の7会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。

また、3件の意見書について採択し、3月16日に閉会しました。

町長・教育長の 執行方針に対する質疑

Q & A

助安町長

Q 1

「鷹栖町の農業振興体制を大切に」「地元農産物を活用」とありますが、農産加工施設「四季の里」での特産品開発の状況は。

また、トマトジュース加工に関して、共同加工と体験加工の内容など、平成22年度との変更点はあるのか伺います。

答弁

特産品については、「四季の里」において色々なアイデアによる開発や素材の蓄積などの努力をしていますが、商品化までには至っていません。

トマトジュースの共同加工は、1世帯50キロ×4回で最大200キロを基本とします。ただし、23年度は50キロに満たない場合も1回分として認めます。

体験加工は1人1回とし、鷹栖町民を主体と考えています。

Q 2

児童クラブの指導員の増員や、運動教室をはじめとする生涯元気づくりなどの「緊急雇用創出事業」は、単年度ではなく、将来どのように継続していくのですか。

答弁

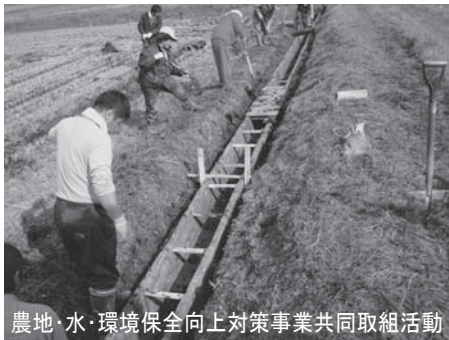
緊急雇用は6事業を予定しています。それぞれの事業に目的がありますので、将来につながるかを模索し、対応を考えます。

Q 3

北野市街地の警察団地の跡地利用は、「公営住宅を含む賃貸住宅系の整備」とありますが、基本的な考えは。

答弁

補助金や交付金の活用も視野に入れ、定住対策用として確保したいと考えています。高齢者向け・若者向けなど、地域の特性やニーズを勘案し最終決断します。



農地・水・環境保全向上対策事業共同取組活動

Q 4

「農地・水・環境保全向上対策事業」が「農地・水保全管理支交付金」に名称変更されます。その中で23年度から予定されている「向上活動支交付金」についての対応を伺います。

答弁

6月には事業内容がはっきりする予定なので、協議をさせていただき、積極的に取り組みたいと考えています。農地の整備に大いに役立つことなので、内容を吟味して対応します。

Q 5

「高齢者交通費助成事業」は、70歳から79歳までの高齢者の方が、免許証を自主返納した場合を条件としています。対象者への説明はどのように行うのですか。

答弁

この事業は、高齢者の交通費助成を拡大するもので、自主返納のきっかけを応援する目的で実施します。

対象者へは、福祉団体の集まりやあらゆる場面を通して事業の内容をお知らせする予定です。

Q 6

パレットヒルズの「現況測量調査」を実施し、全体構想の見直しを含めた施設整備計画を作成することですが、3年間の利用試行しているパークゴルフ場の結論も出した上での計画なのか。また、いつごろまでに作成するのですか。

町長への質疑



答弁

平成10年に策定した構想図と実態が変わってきていますので、測量調査後に全体構想を見直します。

パークゴルフ場は、24年度後半の時期に判断します。

Q 7

「助け合い活動支援事業」は、ボランティアの協力が必要です。ボランティアの活動が点から面に広がり、つながるために町長はどのような支援体制を考えているのか伺います。

答弁

社会福祉協議会の活動を核として、地域で支え合い、助け合う仕組みづくりを研究し、触れ合い・きずなを大事にしたまちづくりを構築したいと考えています。

Q 8

「B&G海洋センターの改修工事」が予定され、5カ月間程度休館するとのこと。

しかし、少年団から一般まで多くの利用者がいるのですから、この期間だけでも充分に利用できる旧北斗小学校の体育館を利用するという発想はなかったのですか。

答弁

旧北斗小学校は、22年度に耐震診断を実施して、次の段階として跡利用について「大雪の園」(鷹栖共生会)と協議中です。また、ある程度の経費が必要となりますので、体育館だけを利用することは想定していません。

Q 1

軽スポーツを通じて健康づくりを推進していますが、平成23年度から生涯元氣課を新設されることにより、教育委員会と重複する部分が出てくると思いますが、今後の対応はどのように考えていますか。

答弁

基本的に、町民が体力づくりを中心に元気で過ごすために、軽スポーツに親しむ環境づくりを目指しています。

今後は、より鮮明に色分けすることになりますが、多くの町民の方に体を動かしてもらえそうなメニューを探しながら、スポーツを普及したいと考えています。

町内のスポーツ団体は、会員減で悩んでいます。どのような支援を考えていますか。



答弁

サークルの数や会員の増減はありますが、町民の方のスポーツに親しむ機会を制約しないで、より楽しんでもらえるよう、体育協会や体育指導員の方々の協力をいただき、いろいろな形で支援していきたいと考えています。

Q 3

「学校給食を通して食育の推進を図り」、地元産品を多く使用することですが、新規需要米の作付けもあり、米粉パンを給食に取り入れることはできないか伺います。

答弁

パン食は、年間20食ぐらいです。平成22年度に、米粉パンを試作し食べていただきました。平成23年度も実施したいと考えています。単価や食味の問題もありますが、子どもたちや関係者の意見を把握して今後に向け検討したいと思っています。

Q 4

学校給食に鷹栖産米を使用し、町内の施設で炊飯できないか伺います。

答弁

今年度から、鷹栖産米を使い、旭川市内で炊飯する予定です。

炊きたての温かいご飯を提供できることが理想ですが、現在の給食センターの施設では難しいのが現状です。少しでも温かいご飯を届けられるように、配達の時間調整や効果的な保温ができる方法を進めていきたいと考えています。

Q 5

「全国学力・学習状況調査」を継続する予定ですが、学力の向上対策はどのように考えていますか。また、学習指導要領が新しくなり、授業時間数が変わりますが、保護者への連絡はどのように行いましたか。

答弁

学習については、「全国学力・学習状況調査」の結果に基づいて改善プランを実施していますし、生活見直し運動やプロジェクトチームの提案を総合的に実施しながら、全体の基礎・基本の向上に努めたいと考えています。

新学習指導要領では授業時間数が増えていますし、総合学習の時間は、他の学校行事や児童活動時間を調整しながら継続しています。保護者には、授業時間割で示したり、外国語活動を始めていますのでご理解いただいていると思います。

山口教育長



Q 6

鷹栖小学校は、教室の照明が非常に暗く、家庭科室には給湯設備がなく冬期間も冷たい水を使用しています。これらについて、町内の小中学校の現状と対策はどのように考えていますか。

答弁

照明は、器具の配置や教室の壁の色などを含めて検討したいと考えています。

給湯設備は、検討はしていますが、単純に便利というだけでなく、教育の部分での大切なことも含めて、判断をしたいと考えています。

Q 7

北野地区住民センターの改修計画の内容と、ほかの地区住民センターの計画はどのようになっていますか。

答弁

北野地区住民センターの改修計画は、最初に、コミュニティ活動を果たす役割の調査を行い、併せて劣化・耐震調査を行います。具体的な改修計画は、この調査を基に立案していく考えです。

ほかの地区住民センターは、経費の問題もありますが、優位性のある補助事業につながるものから対応したいと考えています。

Q 8

小学校の長期休業中における学習指導の方法は。また、インターネット・携帯電話による個人情報の問題や薬物使用についてはどう対応していますか。

教育長への質疑



答弁

長期休業中(夏・冬休み)は、学校学習支援員を配置して、希望者に国語・算数を中心にした勉強を教える予定です。インターネット・携帯電話の使用や薬害については、警察や薬剤師から中学生全員を対象に指導・講習をしていただいています。

Q 9

学校の自己評価は、客観的に評価していると感じますが、教育委員会の事業評価については、委員を増員

して、より客観的な見方ができないか。

答弁

学校評価は、アンケートを含めて判断や改善しやすい部分もあり、比較的低い評価も出てくると思います。ただし、教育委員会の事業評価については、総合的な判断をしていただくものであり、教育行政の経験者を中心に、事業全体を理解し、改善に向けた評価が必要のため、現在の人数が適当と考えています。

Q 10

北野小学校教員住宅の空き家について、活用方法と防犯対策を伺います。

答弁

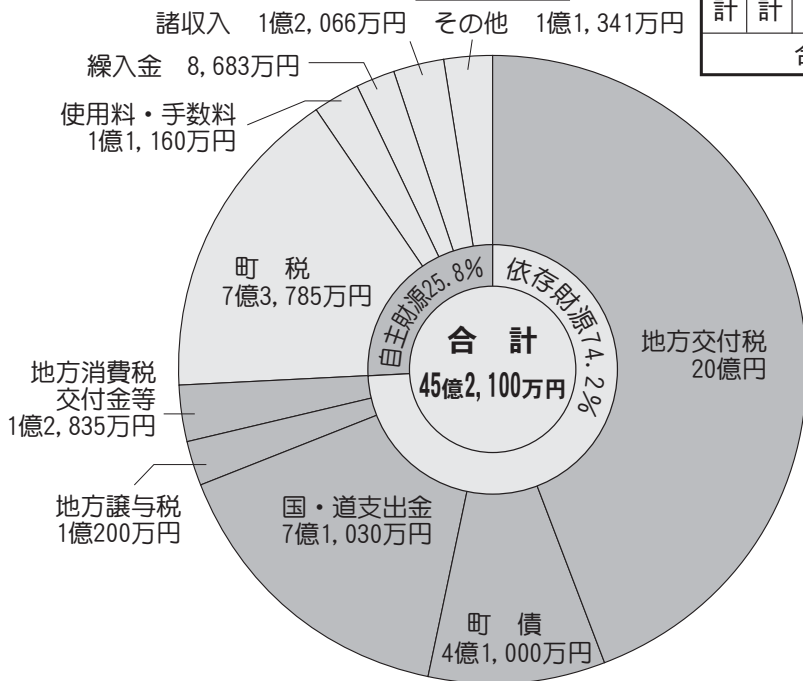
2棟のうち1棟は、学校の物置として利用しており、1棟は、火災など被災した方の一時的な避難場所として確保しています。防犯対策については、学校側で点検をしながら安全に管理しています。

平成23年度各会計当初予算額

会計名		予算額
一般会計		45億2,100万円
特別会計	国民健康保険	8億2,133万円
	後期高齢者医療	6,866万円
	介護保険	6億5,681万円
	公共下水道	2億2,617万円
	公平委員会	1,143万円
計		17億8,440万円
企業会計	水道会計	収益的支出 1億8,449万円
		資本的支出 1億8,463万円
	計	3億6,912万円
合計		66億7,452万円

3月9日に新年度予算についての提案説明を受けました。審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

歳入



自主財源…
町が自主的に収入とすることができるお金
依存財源…
国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

総務費

Q 1

東日本大震災では、一部地域で防災無線がバッテリー切れ等で使用できなかったと聞きましたが、本町はどのような状況になっていますか。

また、今回の震災を教訓としてどのように対応するのか伺います。

また、今回の震災を教訓としてどのように対応するのか伺います。

【6】

民生費

Q 2

児童クラブは活動助成金がありながら、今年度、緊急雇用創出事業で1名の保育士を雇い入れる委託料を計上しています。合計する

児童数は、カンタラモツチ(北野)55名、なんたらもっち(鷹栖)43名、タンタラモツチ(鷹栖)29名で合計127名です。その3カ所の指導員に対する人件費の補助や施設管理費等、またタンタラモツチについては家賃分も補助しています。

緊急雇用については、北野地区の児童数が増加していることと、指導員の研修等も充実させることを目的として1名雇用する予定で

と金額が多くなると思いますが、児童数や助成金の積算根拠をお示しく下さい。

【6】

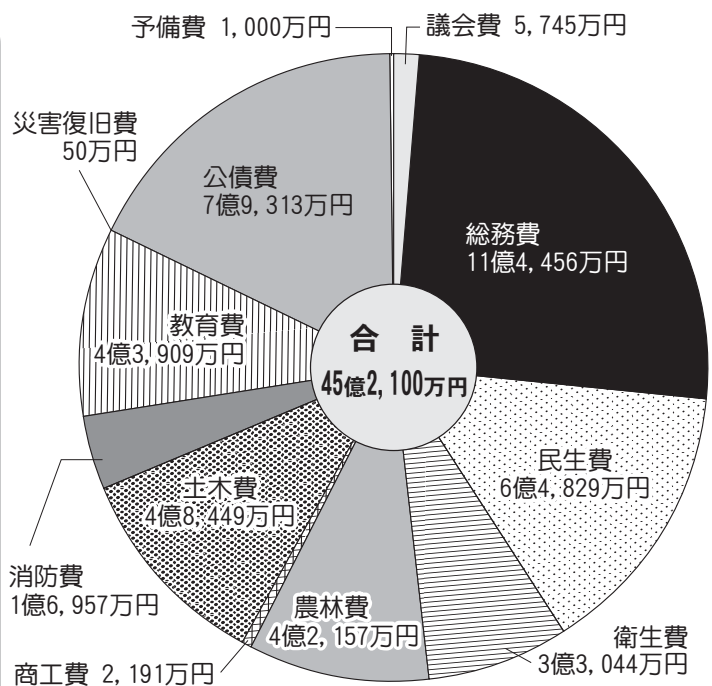
平成23年度 予算審査特別委員会

安心していきいき暮らせるまちづくり

一般会計における主な新規事業 (平成22年度繰越事業含む)

- 議会費…議員年金廃止に伴う給付費負担金の増額
- 総務費…北野警察団地跡地購入、ふるさと鷹栖活動推進事業（サポーターズカード失効ポイント等による児童図書購入）
- 民生費…生涯元気づくりの推進、子宮頸がん等予防ワクチン接種事業、幼児健全育成事業、児童短期入所生活援助事業、放課後児童クラブ機能強化対策
- 農林費…強い米づくり支援事業、ゆめびりか産地化推進事業、野菜生産振興対策事業、オオカミの桃原料確保対策事業、有害鳥獣駆除対策事業、銃猟免許取得事業
- 土木費…美芳野橋架替事業、公営住宅建設事業（そよかぜ団地建設調査設計）、車輛維持管理事業（除雪ドーザ購入）、パレットヒルズ現況平面測量調査
- 衛生費…生ごみ堆肥化施設運営事業、最終処分場運営事業（バックホウ購入）
- 商工費…地域消費活性化事業補助金、消費生活相談事業の強化（定住自立圏協定）
- 教育費…北野小学校増築事業、小学校学習支援員の配置、不登校児童生徒受入事業（定住自立圏協定）、中学校和楽器（箏）購入、学校図書購入、海洋センター体育館改修整備事業、文化協会・体育協会50周年記念事業支援、北野地区住民センター環境整備事業（改修調査＝防衛省予算充当）、地区住民センター図書室整備、ブックスタート事業拡充

歳出



Q3

「安心住まい住宅補助金」が高齢者住宅生活支援事業にある一方、介護保険事業会計でも「居宅介護住宅改修費」の予算を計上しています。

いずれも住宅にかかわる援助費用と思いますが、会計を分けている理由を伺います。

答弁
介護保険会計の住宅改修費は、要介護認定者が対象になり、助成額は20万円が上限です。
「安心住まい住宅補助金」は、介護認定を受けていない60歳以上の方と、要介護認定者、さらに重度心身障がい者、心身障がい者で上肢・下肢の体幹機能障がいがある方も対象になります。助成額は27万円が上限です。

衛生費

Q 4

家庭ごみ焼却処理事業で、過去2年間750万円程度で予算でしたが、23年度予算818万円は、ごみの量が増えているということでしょうか。増えているならば、家庭ごみを減らすことを町民にPRすべきではないですか。

答弁

委託料の算定は、鷹栖町と旭川市のごみの量で按分する方法で単価を決めています。22年度はトン当たり1,100円程度委託料が増えており、ごみの減量化は大きな問題です。排出抑制・リサイクル等を啓蒙しながら、ごみの軽減・資源化に向けた取り組みを進めたいと思います。

農林費

Q 5

農産加工施設(四季の里)

運営事業について、経済福祉常任委員会ではトマトジュースの共同加工は、1世帯2回までで100キロ、体験加工は廃止するとのことでしたが、執行方針質疑での答弁と食い違っているのに、予算の修正をしないのですか。

また、体験加工用のトマトは、町が直接農家から買っています。農業振興公社から仕入れることはできないのですか。

答弁

事業内容を執行方針質疑(2ページQ1参照)のとおりに変更しましたが、予算は変更しなくても執行可能だと思っています。しかし、整合性に欠けるので、追加提案で訂正させていただきます(本会議にて予算訂正)。

原料については、以前に公社から仕入れた時期もありましたが、公社の原料確保を優先するため、体験加工用は契約農家外にお願いしています。



※デメテルの活動



四季の里 トマトジュース加工

Q 6

「オオカミの桃」原料確保対策事業は、いつごろの作付け拡大を見込んでいるのですか。

23年の作付け希望面積は、前年対比44アールの減少となっています。拡大対策についてどのように考えているのか伺います。

答弁

事業開始は平成23年度からですが、今年春先にハウスを建てて作付けすることは現実的に難しいと思います。ですので、事業効果が表れるのは来年以降になると考えます。

新規の作付けにも期待をしていますので、今年中に十分な準備をしていただくことで、少しずつ拡大していくものと考えています。

Q 7

パートナー対策事業予算が平成22年度から減額され

ていますが、その理由を伺います。

パートナーのいない農業者が多数いるので、将来の町の農業を考え、予算の増額も視野に入れながら幅広く対応することが必要ではないですか。

答弁

予算の減額については、交流会に参加される女性の方に、昨年から旅費等の一部を自己負担していただいています。

この事業は後継者対策として重要だと思いますので、関係機関との相談や、予算も含めて十分考慮しながら、積極的に推進したいと考えています。

※デメテル：町外から町内農家に嫁いできた方などを会員とする女性農業サークル。農業技術研究・農産加工体験をはじめ、会員相互の交流活動を行っている。

商工費

Q 8

地場産品販売促進補助金について、昨年、旭川で実施した「食べマルシェ」を今年も実施予定との説明でしたが、どのような内容を想定していますか。

答弁

具体的な内容は、現在未定ですが、昨年の例をもとに、出店にかかる一般的な費用を計上しました。

土木費

Q 9

パレットヒルズの整備について、23年度の事業内容および今後の全体整備計画をどのように考えていますか。

答弁

山頂ルートがかなり荒れている状況ですので、23年度は、年2回草刈りを予定しています。

今後の全体整備計画につ

いては、多くの方が利用しやすいような整備方法を検討したいと思います。

教育費

Q 10

メロディーホールトイレは、階段がありバリアフリーになっていないことや和式であることが高齢者にとって使いづらいと考えますが、その対応策を伺います。

また、体の不自由な方が正面玄関までタクシーやマイクロバスで乗り付けられるような対応策と、裏玄関の階段に手すりがなく、特に冬場は氷が張り危険であることも含めて、今後の改修計画をどのように考えているのか伺います。

答弁

身障者用トイレは設置されていますが、メイントイレのバリアフリー化は、客席下を利用した構造のため難しいので、手すりの設置を23年度実施します。洋式化



パレットヒルズ山頂



メロディーホール

に向けては検討中です。また、体の不自由な方の正面玄関への車の乗り付けは、現在、事前に連絡をいただき対応しています。今後の改修計画は、公園整備事業の補助制度の利用を考慮しており、裏玄関、円形サークルの改修なども検討を進めています。

Q 11

海洋センターの改修期間と、利用している各団体への対応について伺います。

答弁

改修期間は、5月の連休明けから最長6カ月間を想定しています。

各団体の利用時間の調整は、総合体育館の夜間休業部分を充てることで調整済みです。

Q 12

新教育指導要領に基づく備品購入について、和楽器

の中でも箏を選んだ経緯と理由について伺います。

答弁

太鼓や笛なども検討しましたが、太鼓は経験者が多く、笛は個々に必要になり、毎年更新が必要で経費がかかります。このような検討の結果、箏に決まりました。指導者については、中学校の先生が研修に参加している状況です。

水道事業会計

Q 13

水道料金を隔月検針とする理由と、料金の徴収方法を伺います。

答弁

隔月にすることで、検針委託料・口座振替手数料・納付書の郵送料など、年間約200万円程度の経費節減ができるかと考えます。

料金徴収に関しては利用者の意見を聞き、総合的に勘案しながら対応していきたいと考えています。

まちづくりの方策について



近藤 義紀議員

町長は立起に当たり、「鷹栖町みらい会議」を創設し、まちづくりへの意見を聞くとしていましたが「みらい会議」をどのように活用していくのか伺います。

次に、福島県矢祭町と鳥取県智頭町の取り組みを、参考とする考えがあるのか伺います。平成20年に矢祭町の高信教育長が旭川大学で講演されました。町長も参加され、参考になる部分がたくさんあったと言われましたが、どのような部分を参考としていくのか伺います。

また、智頭町では百人委員会を設置し、政策を町に提案する手法であり、民主的な方法だと感じました。

さきに述べた「みらい会議」の構想と似通った部分もあるかもしれませんが、どう感じているのか伺います。

最後に、「プラチナ構想 ネットワーク」について伺います。この組織は、自治体の意欲的な取り組みや政策的課題の解決策を広く社会に発信し、動きを促すことを目的とし、平成22年8月に設立された全国組織で、今後加入する自治体が多く想定されているようです。

民間が主導する団体ですが、今後、この組織に参加し、まちづくりの参考にすることを考えるか伺います。

将来に悔いのない
まちづくりを

【助安町長】

最初に「みらい会議」についてお答えします。

まちづくり懇談会・町長への手紙・出前講座等の広聴活動を通じて、いろいろな話を聞かせていただきました。鷹栖のためという意見が基本ですから、それを真摯に受けとめて、まちのために議論をすることが、まちづくり「みらい会議」だと思っています。

次に、矢祭町は自立の町として、先導的役割を果たした町です。智頭町については「百人委員会」で町民の皆さんが自ら議論しながら、方向性を見いだし、予算編成に住民が参加するという、画期的な形だと思

ます。しかし、両町の取り組みが鷹栖町になじむのか疑問があります。

まちづくりの基本は、情報を共有して、問題の解決策を見いだすことが一番大切なことだと思います。鷹栖町らしい部分をどのように構築するのかを検討・研究しながら、進めていきたいと考えています。

プラチナ構想については、一番必要なものはなにかを判断しつつ、機会があれば参加するという形を取り、鷹栖にどう定着させるかが大きな課題になりますから、工夫と検討をしながら、今後、真剣に考えていきたいと思っています。



まちづくり懇談会

買い物弱者の支援策は



植西 辰義議員

町内では現在、65歳以上の一人暮らし高齢者が222人、また75歳以上の高齢者世帯数は89世帯を数えています。自動車などの移動手段を持たず、身体的・経済的にも買い物に難しい高齢者（買い物弱者）が今後増加していくことは、容易に推察できると思います。買い物は、医療や介護などに比べて生命にかかわる深刻な問題としてはとらえにくいのですが、自由に買い物に行けなくなると、十分な食料品を購入することができず、毎日の食生活においても栄養が偏り、健康に悪影響を与えかねません。

本町では、高齢者福祉事業として、80歳以上の方や平成23年度予算では、運転免許証を自主返納した70歳から79歳までの方に、1万円相当の交通費を支援する予定ですが、これだけでは十分とは言いきれません。提案として、乗り合いタクシーやボランテアによる送迎で、店舗への移動手段を提供するなど、買い物弱者に対して地域生活を支える方法を考えてはいかがでしょうか。

交通体系をバランスよく構築したい 【助安町長】

本町の高齢者福祉の考え方は、住み慣れた地域で可能な限り、在宅で生活することを目指していますので、今後も、一人暮らしや高齢者世帯は増えていくものと考えています。

買い物弱者については、大きな課題となってきたおり、何らかの支援策が必要だと思います。また、現在の高齢者交通費助成事業だけで、解決するとは考えていません。

高齢者福祉の観点からは、交通費助成事業などの直接的な支援のほかに、助け合い・お互い様の理念の基で、社会福祉協議会や町内会の協力をいただきながら、地域における支え合い・見守り等が必要になってきていると考えています。

一方で、町民の足の確保の課題もあり、町営バス・福祉バス・民間の営業路線などの総合交通体系をバランスよく構築しなければなりませんと考えています。

平成23年度は、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の中で、高齢者福祉に関する基本的な考え方を皆さんの意見を基に見直ししていきます。

地域や関係団体と連携しながら取り組み、具体的な方法を構築したときには、ご協力いただきたいと思います。



旧Aコープ北斗店

役場機構改革・ 生ごみ堆肥化施設（販売）の 条例を制定

■条 例

【機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定】

4月1日実施の機構改革に伴う課設置条例などを改正しました。

【鷹栖町生ごみ堆肥化施設の設置に関する条例の制定】

生ごみ堆肥化施設で生産された堆肥の販売に関する事項などについて条例を制定しました。

【鷹栖町修学資金貸付条例の一部改正】

修学資金貸付の種類に「修学支度資金」（年額100万円以内）を追加し、償還期間を「10年」から「20年」に改正しました。

【鷹栖町希望が丘ロッキード憩いの丘設置及び管理に関する条例の廃止】

【鷹栖町の督促手数料及び延滞金徴収条例の廃止】

以上2件の条例を廃止しました。

【鷹栖町議会委員会条例の一部改正（議員提案）】

機構改革に伴う課設置条例の改正により、町議会の総務文教常任委員会および経済福祉常任委員会の所管について改正しました。

第1回定例会



第1回定例会の議事は、平成22年度5会計補正予算、規約の変更、条例の制定・改正・廃止および平成23年度の7会計予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

また、3件の意見書について採択しました。

■規 約

各組織の構成団体の加入に伴う規約変更です。

【北海道町村議会議員公務災害

補償等組合理約の変更】

【北海道市町村総合事務組合理約の変更】

■工事請負契約の議決

【北野小学校増築工事（本体）】

- ・契約方法：制限付一般競争入札
- ・契約金額：8,347万5千円
- ・契約相手方：新谷・日建旭実
特定建設工事共同企業体

■公の施設に係る指定管理者の指定

次の2施設について、管理を行う指定管理者を定めました。指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

【プラザ・クロス10】

- ・鷹栖町商工会 会長 植西 辰義（南1条1丁目1-26）
- ・債務負担限度額：年間270万円

【たかす丸山パークゴルフ場】

- ・NPO法人
たかす丸山パークゴルフ
保全協会 代表 山西 勝一
(21線14号4番地)
- ・債務負担限度額：年間250万円



■市町村合併等調査特別委員会報告

平成19年第2回定例会において設置した市町村合併等調査特別委員会に付託された案件について報告しました。

【報告の要旨】

委員会では地方制度調査会の「市町村を含めた基礎自治体のあり方」の答申を受け、全国の市町村合併の進捗状況調査や合併における評価、検証を実施。一方、鷹栖町も「住民に身近で自立性の高い総合行政の必要性とこれに対応できる行財政基盤と事務体制の確保」を基本とした行政の推進に向け、広域連携事業や旭川市を中心市とした定住自立圏構想に基づく協定締結、事業連携を進めてきた。

このような状況を鑑み、今後も小規模自治体であることの利点を活かしつつ、常に予想される厳しい町財政を踏まえたうえで、町民・町・議会・関係機関が一体となり、「鷹栖町の自立」に向け力強く歩むことを願い、「当分の間は、周辺市町との合併はしない」とする最終報告をしました。

■意見書

3件の意見書を採択し、関係行政庁に提出しました。

【「B型肝炎問題の早期全面解決を求める」意見書】

【地域医療存続のための医師確保に関する意見書】

【T P P交渉参加を行わないよう求める意見書】

<要旨>

政府は、T P Pは国の根幹に関わる問題であるにもかかわらず、国民的な十分な議論もないまま早期に参加の是非を判断しようとしており、政府の動きに対して大きな不安を感じている。

仮に農畜産物の関税撤廃の例外的措置が認められなかった場合、国内農業や関連産業G D Pは大きな損失となる。地域農業の崩壊・関連産業への影響は甚大で、地域社会が危機的状況となることは明白である。

したがって、我が国の食料安全保障と両立できないT P P交渉への参加は反対であり、交渉への参加を行わないよう強く要望する。



■補正予算

【一般会計】主な内容は、事業完了見込みに伴う減額補正ですが、総務費で公共施設修繕等基金積立金として2億円を増額しました。

【特別会計】主な内容は、事業完了見込みに伴う補正です。

		補 正 額	補 正 後 の 額
一 般		1億4,817万1千円	50億6,588万円
内 訳	議 会 費	△24万8千円	
	総 務 費	2億960万2千円	
	民 生 費	△1,153万1千円	
	衛 生 費	△2,062万1千円	
	農 林 費	△1,878万3千円	
	商 工 費	△104万6千円	
	土 木 費	△155万9千円	
	消 防 費	△49万1千円	
	教 育 費	△375万2千円	
	公 債 費	△340万円	
国 保		2,526万9千円	8億3,726万4千円
介 護		3,152万2千円	6億8,307万6千円
公共下水道		△191万3千円	2億2,568万3千円
水 道			
内 訳	収益的収入	188万9千円	1億8,210万3千円
	収益的支出	△131万5千円	1億7,794万円
	資本的収入	△4,049万1千円	1億37万9千円
	資本的支出	△3,903万8千円	2億1,942万8千円

2兆1千億円と試算

(道内影響額・単年度)

原則100%関税撤廃の貿易自由化であるT P Pには、交渉国に米国やオーストラリアなど、農業規模が極めて大きい農業大国が含まれています。

北海道は農業が基幹産業であり、重要品目である米・牛肉・乳製品などに適切な国境措置がなければ、農業・地域経済に大きな影響があるとされ、道は単年度で2兆1千億円の損失と試算しています。

議会では、昨年12月定例会でT P P交渉に反対する旨の意見書を採択しましたが、この問題の重要性から再度採択を行いました。

第1回臨時会

— 1月20日開催の臨時会において補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算【一般会計】

総額2億7,371万8千円の増額補正予算です。

主な内容は、北野小学校増築工事にかかる事業で1億1,602万4千円。国の地域活性化交付金（きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金）などを財源とした、河川の改修、道路の舗装・補修事業や子育て支援のための室内遊具、小中学生および図書館用の図書購入費などです。

また、子宮頸がん（中1～高1）やヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン（0歳～4歳）接種に対し、全額助成することなども議決しました。（なお、23年度予算では子宮頸がんワクチン対象者は高3まで拡大されました）

		補正額	補正前の額	補正後の額
一 般		2億7,371万8千円	46億4,115万9千円	49億1,487万7千円
内 訳	総務費	114万5千円	交通安全教室用資材購入費	
	民生費	200万円	子育て支援備品・図書購入費	
	衛生費	279万1千円	予防接種委託料ほか	
	商工費	500万円	地域消費活性化事業補助金	
	土木費	1億3,709万3千円	美芳野橋架替工事、河川改修、道路工事ほか	
	教育費	1億2,568万9千円	北野小学校増築工事、教育備品購入費ほか	



第2回臨時会

— 2月28日に開催された臨時会において、補正予算の専決処分、補正予算、工事請負契約について審議し、原案のとおり可決しました。

■補正予算【一般会計】

総額283万2千円の増額補正予算です。
（専決処分も含む）

■工事請負契約の議決

【美芳野橋架替工事】

- ・ 契約方法：制限付一般競争入札
- ・ 契約金額：7,360万5千円
- ・ 契約相手方：株式会社 山元組

		補正額	補正前の額	補正後の額
一 般		283万2千円	49億1,487万7千円	49億1,770万9千円
内 訳	教育費	33万2千円	全国中学スキー大会（クロカン）参加補助金	
	土木費	250万円	美芳野橋架替工事費（附帯工事分）	

第3回臨時会

— 3月30日開催の臨時会において、条例改正、補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

■条 例【鷹栖町職員の給与に関する条例の一部改正】

町職員の給与について、職務区分・職務内容を明確に分類し、支給することなどの改正をしました。

■補正予算【一般会計】

主な内容は、国の地域活性化交付金(住民に光をそそぐ交付金)を財源とした総額4,567万4千円の増額補正予算です。



子育て支援センター

		補 正 額	補 正 前 の 額	補 正 後 の 額
一 般		4,567万4千円	50億6,588万円	51億1,155万4千円
内 訳	総 務 費	3,903万4千円	減債基金積立金ほか	
	民 生 費	50万円	子育て支援 備品購入費	
	教 育 費	614万円	図書購入費、メロディーホール備品購入費 ほか	

議会のうごき 2010.12.16~2011.5.1

■12月

- 20日 TPPを検証し地域を守る
上川地方総決起大会(旭川市)
- 28日 議会報特別委員会

■1月

- 13日 議会報特別委員会
- 17日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
…第1回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議。
- 20日 第1回議会臨時会・議会報特別委員会

■2月

- 3日 全国市議会議長会基地協議会第74回総会
(東京都)
- 9日 上川中央部市・町議会定例議長会議
(比布町 ~10日)
- 18日 委員長等会議…新年度予算概要について ほか
議会運営委員会…機構改革に伴う常任委員会
所管について ほか
- 22日 経済福祉常任委員会…第2回臨時会・第1回
定例会で提案される議案について説明を受け、
内容を審議。(~23日)

- 24日 総務文教常任委員会…第2回臨時会・第1
回定例会で提案される議案について説明を受
け、内容を審議。(~25日)
- 25日 上川町村議会議長会定期総会(旭川市)
- 28日 第2回議会臨時会
市町村合併等調査特別委員会

■3月

- 2日 議会運営委員会…第1回定例会で提案される
案件や意見書の取り扱いについて協議し、会
期などを決定。
議員協議会…国営緊急農地再編整備事業の事
業概要 ほか
- 8日 第1回議会定例会(~16日)
- 24日 経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会
…第3回臨時会で提案される議案について説
明を受け、内容を審議。
議会報特別委員会
- 30日 第3回議会臨時会・議会報特別委員会

■4月

- 7日 議会報特別委員会
- 15日 議会報特別委員会

わたしの一言

たかすの恵み すいか糖



織田 妙子 さん

(北野西町内会)

鷹栖町で退職後の主人と安心の野菜作りが始まり6年になります。

グループホームの日曜市場に、朝どりの新鮮野菜を持って行って、喜ばれています。1年前、「四季の里便り」でスイカ苗無料配布の案内があり、仲間と苗をいただきスイカを育てました。

8月に、昔、祖母が作って食べさせてくれた味にチャレンジです。100%無添加の糖度65度のスイカ糖ができました。

町農政・企画の方の協力をいただき、保健所の許可を取って「たかすの恵み すいか糖」が誕生しました。

12月末「地産地消の店・チコリ」で店頭初売り、今年1月北海道新聞上川版に載り、遠くは美深、名寄からの注文がありました。その記事を見て、読売新聞「あざれ」、FMリバーでの生放送、「おいしい倉庫旭川」、「旭川アンテナショップ」に売り込み、人に助けられて夢に向かって一歩ずつ前進しています。町民の皆さまも仲間になってスイカを育ててください。

10年後に喜び合える仲間作りをしたいです。

あとがき

春の訪れを少しずつ感じながら、胸ふくらませる季節となりました。

しかし、東日本大震災で私たちが想像もできないほどの、地震や津波と福島原子力発電所の事故による被害。言い古された言葉ですが、自然の驚異と人間の無力を感じました。同時に、助け合い・協力し合い・懸命に生きている姿に、人のたくましさを感じています。

また、地方自治の基本的な姿がそこにあるのだと思いました。

今回の震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、長い時間をかけ自分たちのできる範囲で、最大の協力をしていかなければならないと考えています。

今期の議会報特別委員会としては、最後の編集となりました。議会活動や議論を少しでもお知らせできればと考えながら編集をしてきました。ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げます。

最後に「わたしの一言」にご寄稿くださいました 織田 妙子 さん
ありがとうございました。



編集委員一同

坂根委員 木下委員

植西委員 加藤委員長 神田委員